



【記念植樹】
花巻新渡戸記念館には十和田市の木「もみじ」を記念植樹



【十和田市との式典】
贈呈された写真と、十和田市小山市長と上田市長



【平塚市での記念式典】
贈呈された「七夕刺繍絵」。両市長と両友好都市委員会長



【友好都市こどもマリ交流】
平塚市で開催。ボディボードなどさまざまな体験を通して交流



【友好都市少年少女交流キャンプ】
平塚、十和田、花巻の子どもたちがキャンプを通して交流

本市は、神奈川県平塚市、青森県十和田市と友好都市提携を結んでいます。ことしはその提携を結んでから、平塚市は30周年、十和田市は25周年を迎える記念の年となりました。ことし行われた事業と、これまでの交流を振り返ります。

さまざまな事業や分野で交流

本市は、平塚市と十和田市と友好都市提携調印から現在に至るまで、さまざまな事業を通して交流を続けてきました。

平成10年から本市の平塚・花巻交流の森で毎年開催している「友好都市少年少女交流キャンプ」では、平塚市、十和田市、そして本市の小学5・6年生が集い、キャンプを通じて友好を深めてきました。

また、平成12年から平塚市において隔年開催されている「友好都市こどもマリ交流」に、本市の小



神奈川県

平塚市

■神奈川県平塚市

神奈川県の中央部、南は相模湾に面する平野部に位置する。人口約25万7千人、面積67.88平方キロメートル。古くは東海道の宿場町として知られ、相模川西岸には自動車関連企業をはじめ、さまざまな業種の工場が立地している。米の生産も高く、バラの花や野菜など農業も盛ん。近海の魚介類も豊富。湘南ひらつか七夕まつりや湘南ベルマーレで知られる。



湘南ベルマーレ

○平塚市 交流の始まり

本市と平塚市との交流は、昭和57年、平塚市市制50周年の記念事業として「市民休養の郷」を提携したことに始まります。その後、昭和59年の旧花巻市の市制30周年を機に友好都市提携を結びました。合併後の平成18年4月6日、友好都市継続の調印を行いました。



湘南ひらつか七夕まつり

深まる友好都市交流

平塚市 30周年記念式典

7月5日には、平塚市との交流30周年を記念して、平塚市の旧横浜ゴム平塚製造所記念館で式典が開催されました。式典には、本市から上田市長、宮澤啓祐花巻市友好都市交流委員会会長をはじめ大償神楽保存会と市民ツアーの皆さんが出席。落合克宏平塚市長から本市へ記念として、平塚市在住の作家・若林薫さん作「七夕刺繍絵」が贈呈されました。翌日、「湘南ひらつか七夕まつり」の会場で、本市の大償神楽を披露してきました。

一方、本市でも10月14日、なはんプラザで記念式典を開催。平塚市から落合市長、平野恵美子平塚市都市提携委員会委員長のほか市民ツアーの皆さんが出席しました。

十和田市 25周年記念式典

10月11日には、十和田市との交流25周年を記念して、花巻新渡戸記念館で記念式典を行いました。十和田市から小山田久市長、小川洋平十和田市議会議長、石川正憲新渡戸友好都市交流委員会会長、新渡戸常憲新渡戸記念館館長のほか百人を超える市民ツアーの皆さんが来訪。小山田市長から記念として、十和田市出身の写真家・和田光弘さんが撮影した写真「水と緑の奥入瀬〜十和田開拓の水源〜」が贈呈されました。

また、11月1日には、十和田市での記念式典が市民交流プラザで開催され、本市から上田市長と市民ツアーの皆さんが出席。歓待を受けてきました。

○十和田市 交流の始まり

本市と十和田市との交流のきっかけは、花巻出身の新渡戸傳が人工河川稲生川を開削するなど十和田市の基礎を築いたことが縁です。平成元年10月10日に「新渡戸友好都市」の提携を結びました。合併後の平成18年4月13日に新渡戸友好都市継続の調印を行いました。



十和田市立新渡戸記念館



青森県

十和田市

■青森県十和田市

青森県の東南部、八甲田山の裾野に位置し、美しい十和田湖や奥入瀬溪流で知られる。人口約6万4千人。面積は725.67平方キロメートルと本市より少し小さいほど。近代都市計画の先駆といわれる整然と区画された基盤の目状の街並み、自然と都市機能が調和したまちとして有名。